

水のうで我が家を守ろう！

～家庭での簡易水防～

「水のう」って何？

台風や集中豪雨などの大雨時、家の中への浸水を防ぐために一般的に「土のう」が使用されますが、女性やお年寄りの方々が取り扱うには重くて大変です。そこで、家庭にあるもので簡易的に作れるのが「水のう」です。

○草加市が水のうをオススメする理由

本市では消防署などで「土のう」の配布を行っていますが、「土のう」の取り扱いは結構大変です。

～土のうの場合～

- ①ご自身で消防署などへ取りに行く必要があり、重くて運搬が大変。(1袋約 20kg)
- ②配布できる数に限りがある
⇒1世帯1回(20袋)のみ
- ③使用後はご自身での保管となり、保管場所に困る。(※返却不可)



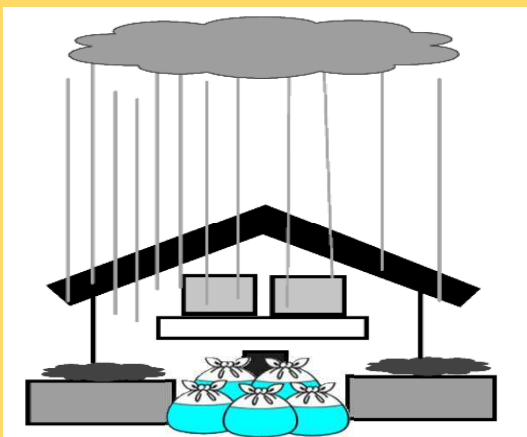
～水のうの場合～

- ①家にあるもので、かつ設置したい場所で作成ができる。
持ち運びが不要!!
- ②水を流せば片付け終了。
片付けが簡単!!
- ③使用後は乾かしてゴミ袋として使えます。
再利用が可能!!



水のうの活用例

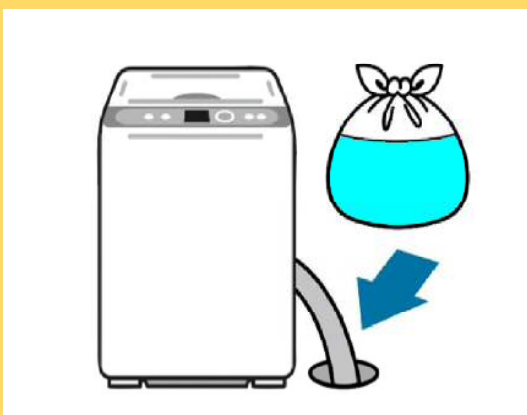
■玄関前に置いて
家の中への浸水防止



■トイレからの
逆流防止



■洗濯機の排水口
からの逆流防止



■風呂場の排水口
からの逆流防止

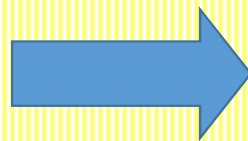


水のうの作り方 ~STEP1:水のうで浸水防止~

作成開始!



家庭にあるもので簡単に作成することができます。



(※作業人数1~2人)



ホースを使えば設置したい場所で作成でき、運搬不要です。

【必要なもの】

- ・家庭用ゴミ袋(45リットル程度)など
- ・水(ホースがあると便利)

【作り方】

ゴミ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れます。

約3分後、あっという間に完成！

あとは空気を抜いて
口を結ぶだけ！



約10cm

袋の中の空気を抜いて、口を結び、完成。
水のうのみの場合、10cmほどの高さになります。
※浸水深が水のうの高さと同程度になると浮くおそれがあるので、袋の中に重しとなるものを入れ
と良いです。

水のうの作り方 ~STEP2:段ボールを使って止水壁~

STEP1の水のうに段ボールを組み合わせることで、より強固な止水壁を作成することができます。

今回はガムテープを使っていますが、ビニールシートなどでより丈夫にすることも可能です。



段ボールの中で
作ると運搬不要!

数分後...



約30cmに!!

- ①まず段ボールを用意し、設置したい場所に並べ、水のうを作成します。
- ②段ボールいっぱいに水のうを詰め、段ボールのふたを閉めたら、完成。(今回は1箱に水のう2個使用)
※使用する段ボールによって高さを変えることができます。

段ボールが破れても
水のうが出なければ大丈夫よ！



濡れても簡単に破れません！

片付けも
あっという間!!



使用後はゴミ袋として再利用しましょう！
結び目がほどけない場合は、
ハサミで切っても大丈夫です。

応用編 ~ ①水の逆流防止~

○意外な場所からの浸水を防止

洪水時は、洗濯機やお風呂場の排水口やトイレなど、思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口やトイレを水ので塞ぎましょう。

☆洗濯機の排水口を塞ぎましょう



☆トイレの排水口を塞ぎましょう



※使用したごみ袋は、トイレ等に流さないでください。

2014草加市

応用編 ~ ②防水シートでより強固に~

会社や事業所などで大人数で作業できる場合は防水シートを用いてより強固な止水壁を作成できます。

(※作業人数2人~)

○簡易「水のう」の設置例



段ボール等に入れますと持ち運びができるので、防水シートなどでくるんで、玄関先などに設置できます。